

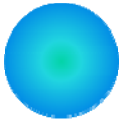


自主ゼミナール「環境管理実務入門」 の開催について

講師：大学院環境・エネルギー研究科
客員教授 黒澤正一

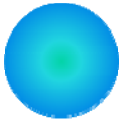
【ゼミナールの趣旨・狙い】

- 20世紀とは異なり、21世紀の企業活動では、外部不経済を放置できない時代へと確実に変わりつつあります。
- 一方、企業不祥事を予防するため、あるいは企業を取り巻く様々なリスクを回避しつつ事業継続をより確実なものとするため、経営におけるマネジメントシステムの存在価値は以前にもまして高まってきています。
- この自主ゼミナールでは、「組織」による「環境管理」や「社会的責任」ある行動について講義します。環境管理については、「ISO14001」、「環境マネジメントシステム」、「審査」等について、社会的責任については、「CSR」、「ISO26000」など実践的な内容について、その詳細な実情を分かりやすく解説していきます



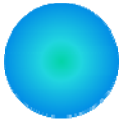
【履修の意義】

- 一時の勢いは失ったものの、我が国では大企業を中心に2万社以上が「環境マネジメントシステム」の国際規格「ISO14001」の認証登録をしています。類似の認証制度や自己宣言などを含めると、環境管理に無頓着な企業は皆無に等しいとも言えるでしょう。
- 就職という形で必ずいずれかの「組織」に所属することになる学生諸君にとっても、これらと無縁でいることはできないでしょう。とりわけ企業に就職する諸君にとっては、「環境マネジメントシステム」や「ISO14001」、「CSR」等の基礎知識は有効な武器となってくれるはずです。



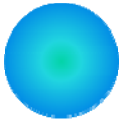
【講義概要】

- まず、環境マネジメントシステムの意味合いを分かりやすく説明したうえで、ISO14001規格要求事項の詳細について、システム審査の仕組みや審査員制度などを織り交ぜて解説していきます。
- つぎに、こうしたマネジメントシステム審査制度における危機的状況を受けて、経産省が2008年に出したマネジメントシステム認証規格への「新ガイドライン」における有効性審査やベストプラクティス広報を含めた、今後の方向性について解説します。
- さらに、環境ラベル、ライフサイクルアセスメント、環境パフォーマンス評価、森林マネジメント、など、ISO14000シリーズを鳥瞰していきます。
- 最後に、組織の社会的責任の国際規格ISO26000(DIS国際規格草案)の詳細を解説しつつ、最近の企業不祥事を題材に、不祥事発生の原因分析を行い、原因除去の対策の抽出する手法に触れ、ステークホルダ別にEMS情報やCSR情報をいかに伝えていくかを新たな戦略的活用法を取り上げます。
- また、希望者のみのエクストラ講義では、実際の環境マニュアルやトピックスに基づき、環境マネジメントの将来像についてより深く掘り下げる講義を予定しています。



【ゼミナールの日程】

月日	曜日	時間帯	場所	摘要
5月6日	(木)	14:45～16:15	早稲田or 西早稲田	EMSとCSRとマネジメントシステムの概論
5月19日	(木)	16:30～18:00	早稲田or 西早稲田	ISO14001とEMS（講義①）
5月19日	(水)	18:15～19:45	早稲田or 西早稲田	ISO14001とEMS（講義②）
6月2日	(水)	16:30～18:00	早稲田or 西早稲田	ISO14001審査スキーム
6月2日	(水)	18:15～19:45	早稲田or 西早稲田	環境マネジメントにおける現状と今後
6月30日	(水)	16:30～18:00	早稲田or 西早稲田	ISO14000シリーズを鳥瞰する
6月30日	(水)	18:15～19:45	早稲田or 西早稲田	CSR論（講義）
7月7日	(水)	16:30～18:00	早稲田or 西早稲田	CSRケーススタディ
7月7日	(水)	18:15～19:45	早稲田or 西早稲田	環境コミュニケーション 戦略的活用法
7月21日	(水)	16:30～18:00	早稲田or 西早稲田	第二世代の環境マネジメントへ向けて
7月下旬～ 9月中旬	—	—	早稲田or 西早稲田	エクストラ講義（全3回を予定） ～より深く学びたい学生諸君のために～



【担当】

早稲田大学大学院

環境・エネルギー研究科 黒澤正一

(本庄キャンパス)

連絡は下記のアドレスへ

jdkurosawa918@ab.auone-net.jp